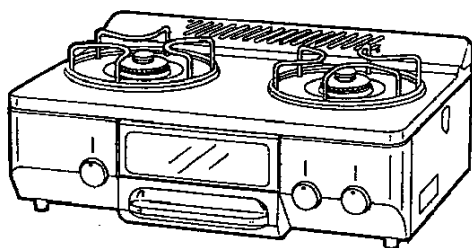
取扱説明書	HR－027PS－HL <LW2104LTG> HR－027PS－HR <LW2104RTG>	1 7 1 1 7 1	4 0 6 6 2 0 6 7	13011

型式名 LW2104LTG / LW2104RTG

保証書付

取扱説明書

品名 HR-027PS-HL 検査コード 1714066
HR-027PS-HR 1712067

ガステーブル

このたびはガステーブルをお買い上げくださいましてありがとうございました。

- ガステーブルの機能を、十分生かしていただくために、必ずご使用の前に取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
- この取扱説明書のP.18が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ大切に保存してください。

目　次

TOKYO GAS

機能と特長

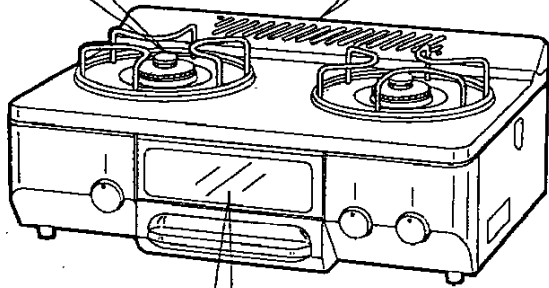
つまみはワンプッシュ式

つまみは点火・消火の操作がワンプッシュでできます。

立消安全装置付

バーナはすべて煮こぼれなどで火が消えると自動的にガスが止まる安全装置付です。

3段切替付グリルつまみ

グリルは焼物の種類によって①「上火・強一下火・強」②「上火・強一下火・弱」③「上火・消火一下火・強」の3種類の火力調節ができます。(7ページ参照)

各部の名称とはたらき

※図はHR-027PS-HLです。HRタイプは左右コンロが逆になります。
チャオバーナ
(右タイプ,左タイプ有り)
フラットフェーサー
ごとく
グリル排気口およびカバー
調理中の排気がでるところです。
標準バーナ
しる受け皿
トッププレート
銘板
ガス種などが表示してあります。
チャオバーナ用つまみ
グリル扉
グリル水入れ皿と一体になっています。
グリル用つまみ
標準バーナ用つまみ
グリル扉とって
グリル水入れ皿
グリル焼網
付属品
ゴム管ホルダー
グリル料理手帳
取扱説明書
(保証書付)
乾電池
(単二 1.5V 1個)

取扱説明書	HR－027PS－HL <LW2104LTG> HR－027PS－HR <LW2104RTG>	1 7 1 4 0 6 6 1 7 1 2 0 6 7	13041

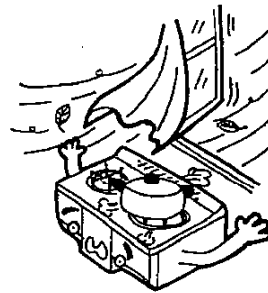
設置の方法

設置前のご注意

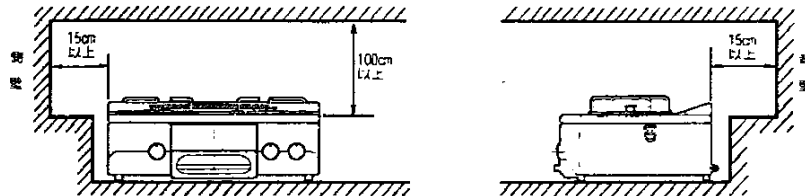
● 機器本体の銘板に表示してあるガス種と、使用するガス（ガスグループ）の種類が適合していることを確認してください。

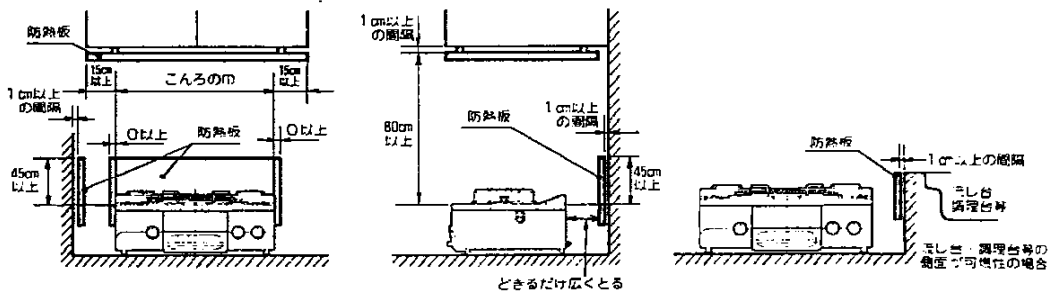
〈注〉この部分を必ずご確認ください。

設 置 場 所

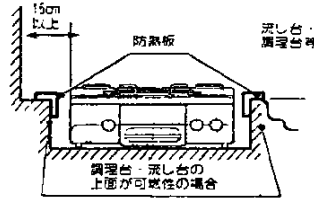
● 強い風の吹き込む所では使用しないでください。風で吹き消されることがあります。
● 機器は丈夫で水平な台に設置してください。
● たなの下など落下物の危険のある所では使用しないでください。

周囲の防火措置

● 設置場所の周囲が可燃物（木製の壁・たななど）のある場合

トッププレートより上の側面および背面は木製のような可燃性の壁から15cm以上離した場所でお使いください。
可燃性の壁にステンレス板などを取り付けてご使用になる場合も同様です。また機器の上方の天井、吊りとだななど可燃性の部分との間は100cm以上離してください。 防火構造の場合はその限りではありません。

● 可燃性の壁から15cm以上（天井面は100cm以上）離して設置することができない場合

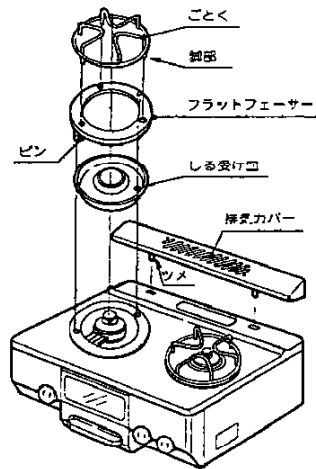
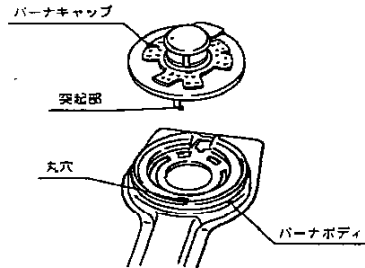
別売りの防熱板を図のように取り付けてください。流し台等の側面が可燃性で機器のトッププレートより高い場合も防熱板で流し台等の側面を保護してください。

設置の方法••••➡

● **調理台、流し台などの上面が可燃性で、機器のトッププレートとほぼ同じ高さにある場合**

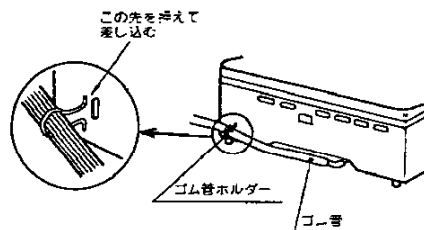
可燃性の壁面から15cm以上離して設置することができる場合も防熱板で調理台、流し台の上面を保護してください。(特にハイカロリーバーナ側に注意してください。)

部品のセット

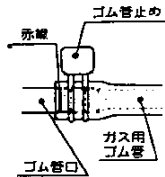
● トッププレートの上にしる受け皿を置き、その上にフラットフェーサー、ごとくの順に正しくセットしてください。

● 排気カバーはトッププレートの後部の穴（2ヵ所）へ、図のように排気カバーのツメ(2ヵ所)部をまっすぐ差し込んでセットしてください。

・フラットフェーサーはピン（2ヵ所）をトッププレートの穴へ，ごとくは脚部(3本)をフラットフェーサーの穴（3ヵ所）へ差し込んでセットしてください。

● バーナキャップをはずした場合はピン状の突起部をバーナボディの丸穴に正しくセットしてください。それ以外の位置では確実にはまりません。

ゴム管の接続

● ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないようできるだけ短く（適当なゆとりをもたせたうえで）また機器の下を通したり機器に触れないようにしてお使いください。

● お部屋のガスせんが右側にある場合は、図のように付属のゴム管ホルダーを使用し、機器にふれないように固定してください。

●●●設置の方法

● ゴム管は、ゴム管口の赤線まで差し込み、ゴム管止めで確実に止めてください。

● ゴム管の継ぎたしおよび二又分岐は行わないでください。

操作のしかた

はじめてお使いになるとき

●乾電池（単二 1.5V 1コ）を取りつけてください。(取りつけ方はP.14"電池の取りかえ方"を参照)

●グリルはグリル水入れ皿に水を入れ、操作のしかたにもとづいてグリルを約15分から焼きをしてからお使いください。部品に付着している油を焼ききるためで、煙とにおいが出ますが異常ではありません。

●コンロのごとくは、炎が当ると熱により変色しますが異常ではありません。

ご使用前の準備

機器の点火操作をする前に次のことを行ってください。

●機器の周辺に紙、プラスチック、油など燃えやすいものがある場合は、他の場所に移してください。

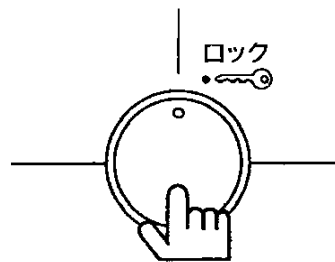
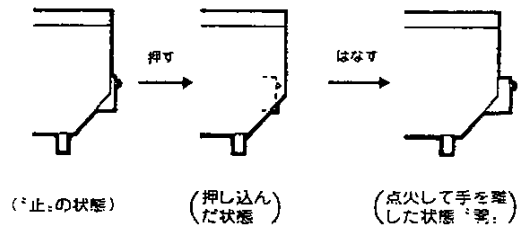
●お部屋のガスせんを全開にしてください。

コンロの操作のしかた

1 点　火

・つまみを止まるまでいっぱいに押し込みます。

・「パチパチ」と音がして点火します。手をはなすと、つまみは「止」の状態より手前にとび出します。

（"止"の状態）　（押し込んだ状態）　（点火して手を離した状態"弱"）

操作のしかた••••➡

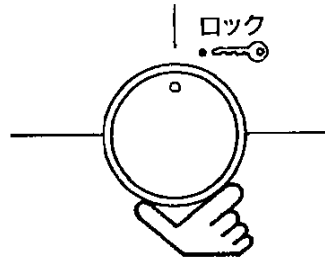
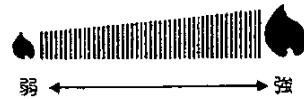
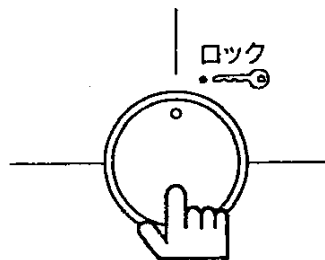
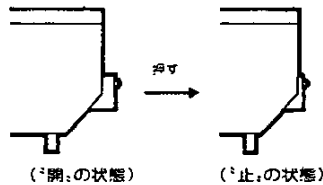
- つまみは、「ロック」の位置では点火できません。
- はじめて点火するときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。空気が抜けるまで点火・消火の操作をくり返してください。

2 火力調節

- 「🔥印」（強火）と「🔥印」（弱火）の間でつまみをまわすと火力調節ができます。
- 火力調節範囲はつまみに表示されています。
- 強火から弱火にするときは、つまみをゆっくりまわしてください。急にまわすと消火することがあります。

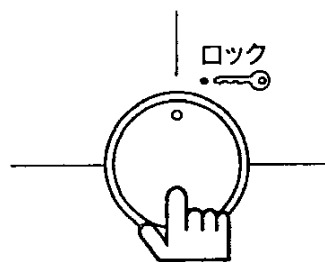
弱 ←――→ 強

ロック

3 消　火

- つまみを止まるまでいっぱいに押し込みます。
- つまみは確実に最後まで押し切ってから手をはなし、確実に消火しているか確認してください。

グリルの操作のしかた

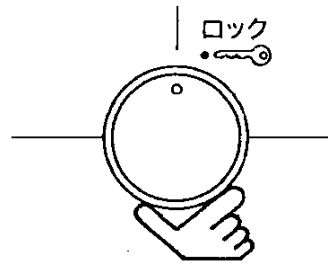
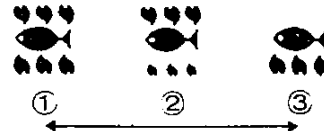
グリル水入れ皿に水を入れます。
（コップ一杯半　約300cc）

1 点　火

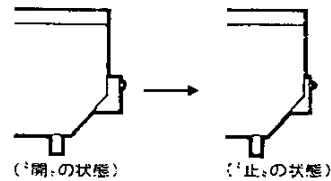
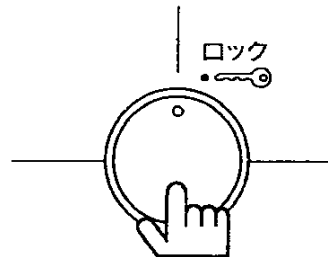
- つまみを止まるまでいっぱいに押し込み、点火確認後つまみを数秒間そのまま保持します。

・手をはなすのが早すぎると消火しますので、再度やり直してください。
・グリルバーナに点火したことを確認してください。（上火・下火共）

2 火力調節

・①「上火・強一下火・強」、②「上火・強下火・弱」、③「上火・消火一下火・強」の３段階の切替ができます。つまみを回すと、それぞれの位置で「カチッ」と音がして軽く止まりますので、焼物の種類に適した位置で使います。(詳しくは付属のグリル料理手帳を参照してください。

・火力切替範囲は、つまみに表示されています。

3 消　火

・つまみを止まるまでいっぱいに押し込みます。

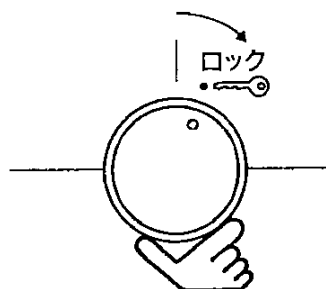
・つまみは確実に最後まで押し切ってから手をはなし確実に消火しているか確認してください。

操作のしかた•••➡

ロック操作のしかた

ロックとは

- 「ロック」の位置にすると点火操作ができない安全機構になっています。
- 小さなお子様がおられるご家庭などは，消火後または使用しないときはロックにしておくと安全です。

●つまみをロック位置へ〝カチッ〟と音がするまでまわします。

- つまみは消火状態でないとロックできません。
- 点火の状態でつまみをむりに「ロック」位置へまわさないでください。

（〝止〟の状態）

グリルの上手な使い方

●予　熱

- 表面のこげやすいもの（つけ焼き、照焼き、粕漬け、みそ漬けなど）や，火の通りの悪い魚などは、予熱しないでそのまま焼きます。
- それ以外の魚や肉は、点火後約3分予熱し、温度が上ってから材料を入れてください。またこのときにグリル焼網も同時に熱しておくか，サラダ油を塗っておくと材料がくっつきにくくなります。

●焼　物

- 大きな焼物は、グリル焼網ぐらいの大きさに切ると熱分布がよくなります。
- 魚の尾やヒレ等、こげやすい部分には厚目に塩をふりかけるか、アルミハクで包んで焼くときれいに仕上ります。
- みそ漬けや粕漬けは、みそや粕を十分にふきとってから焼くときれいに焼けます。

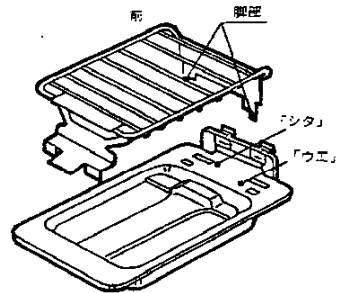
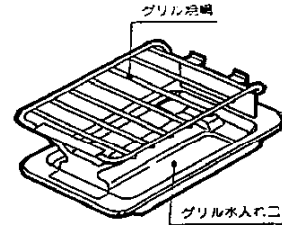
•••操作のしかた

● グリル焼網の使い方

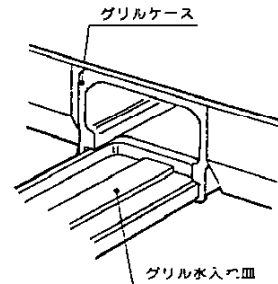
- グリル水入れ皿の切込み穴へ、焼網の脚部を入れて使います。
- 切込み穴の大・小により高さが変えられます。

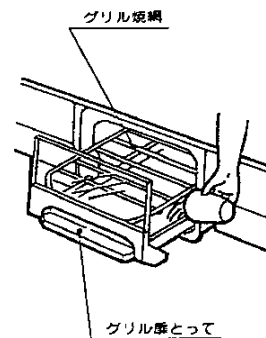
「高」で使用の場合
小さい穴（「ウエ」と表示のある方）にセットします。

「低」で使用の場合
大きい穴（「シタ」と表示のある方）にセットします。

- 焼物による「高」・「低」の使い分けは、付属のグリル料理手帳を参照してください。
- 切込み穴へ、焼網の脚部が必ずセットされているか確認してください。

● グリル水入れ皿の使い方

- グリル水入れ皿は、グリル扉と一体になっています。
- グリルをお使いのときは、グリル水入れ皿に水を入れ、グリル扉がグリルケースにあたり、閉まった状態にします。
- グリル水入れ皿をグリルケースから取りはずすときは、グリル扉とってをもって引きだし、最後に少し持ちあげながらはずします。
- 取付けるときは、逆に初め少し持ちあげながら差込みます。

- グリル水入れ皿を引きだすときに持ちあげながら引きだすとグリルケースからはずれてしまいます。引きだすときは静かに持ちあげないで引きだすようにしてください。

● グリル水入れ皿の水の補充について

- グリル水入れ皿の水がなくなると、煙が出たり手入れがしにくくなりますので、連続でお使いになるときは水の補充が必要となります。水を入れる場合は、グリル水入れ皿を少し引き出し、コップなどで入れるとこぼれずスムーズに補充できます。

使用上のご注意

特に注意していただきたいこと

1 ガス漏れには充分ご注意ください。	①ガス漏れに気付いたときはお部屋のガスせんを閉め、窓や扉を静かに開け，最寄りの「東京ガス」へご連絡ください。 ②東京ガスの係員が処置するまでは換気扇の使用、電気のスイッチの「入切」、電源プラグの抜き差し、マッチやライターの使用は絶対にしないでください。
2 使用ガスについて	・この機器は12A・13A用です。12A・13A以外のガスでは使用しないでください。 型式名 都市ガス用 13A 8,500kcal/h 12A 7,900kcal/h 製造年月 製造番号 株式会社ハーマン ―銘板のこの部分を確認ください。 ・銘板は機器の右側に貼ってあります。
3 燃えやすいものを機器の周囲に置いたり近くで使用したりしないでください。	①紙、プラスチック、油類など、燃えやすいものをそばに置かないでください。 ②ガソリン，ベンジン，各種スプレーなどの引火物を近くで使用しないでください。 ③棚など、落下物の危険のあるものを上部に取りつけないでください。
4 調理以外の用途には使用しないでください。	・衣類などの乾燥や、火おこし等には使用しないでください。過熱異常燃焼などによる焼損や、火災などの危険があります。
5 火傷には充分ご注意ください。	・使用中や使用直後は、機器本体とその周辺は熱くなりますので、グリル扉とって・つまみ以外はさわらないでください。 ・グリルをお使いになるときは、排気口から高温の排気がでますので、顔などを近づけないでください。 ・鍋の大きさや形状等によっては、とってなどが排気熱で熱くなることがあります。
6 転居されるとき	・ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、最寄りの「東京ガス」または転居先のガス会社に相談し、必ず調整したうえでご使用ください。

使用上注意していただきたいこと

1 グリル使用中排気口をふさがないでください。	• グリル排気口をふさがれますと内部に熱がこもり大変危険です。
2 換気についてのご注意	• ご使用と同時に換気扇をまわすなど、換気にご注意ください。 • しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼することがあります。
3 市販の補助具は使用しないでください。	• 部品はこの機器の純正部品を使用してください。 • コンロを覆ってしまうような大きな鉄板、陶板等の補助具は使用しないでください。不完全燃焼や過熱による機器の焼損や火災などの原因になります。
4 グリル扉の開閉は静かに行ってください。	• あまり強く開閉したりすると消火することがあります。
5 グリル扉はしめてお使いください。	• グリル扉を開けて使用しますと熱気が手前にあふれ、機器の焼損や火傷の原因になります。
6 グリル使用中はグリル扉に水をかけないでください	• グリル使用中はグリル扉ガラスが高温になっていますので、水をかけると割れる場合があります。
7 グリルケースおよびグリル水入れ皿は奥にあたるまで入れてお使いください	• グリル扉が閉まらなくなったり、熱気あふれや熱分布が悪くなったりします。
8 使用中火が消えたときには	• つまみを止まるまでいっぱいに押し込み、消火の状態にしてください。 • 周囲に生ガスがなくなるまで、しばらく待ってから「操作のしかた」に従ってください。

•••使用上のご注意

9 グリルケースおよびグリル水入れ皿は時々手入れをしてください。	・グリルケースやグリル水入れ皿に脂が多くたまりすぎると燃えたりしますので、時々手入れをしてください。 ・グリル水入れ皿の水が汚れると掃除がやりにくくなります。水を入れかえてください。 ・続けてお使いになる場合は、とくに水量に注意してください。
10 異常時の注意	・異常と思われたときはP.15の「故障かな？と思ったら」をご確認のうえ，なお異常のあるときはお買い上げの販売店または最寄りの「東京ガス」にご連絡ください。
11 アルミ箔製しる受けの使用について	・市販のアルミマットをお使いになる場合は、しる受けに十分なじませてください。 ・バーナに近づいて、炎に当ったり点火用の穴をふさぐと、点火しなかったり、不完全燃焼の原因になります。 ・フラットフェーサーの上部には，アルミマットは，絶対使用しないでください。

点検・手入れのしかた

●点検・手入れの際には必ずお部屋のガスせんを閉じ、機器が冷えてから行ってください。
●安全装置やガス通路部分は絶対に分解しないでください。

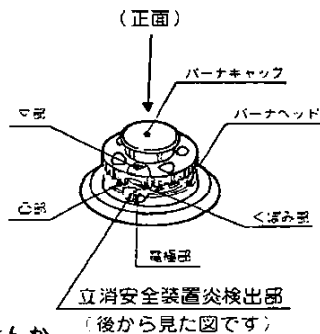
点　検

1 機器の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いてありませんか。

2 バーナキャップ、排気カバー、ごとく、フラットフェーサー、しる受け皿などが正しくセットされていますか。
（セット方法はP.4を参照してください。）

3 バーナキャップの炎口が煮汁などで詰っていませんか。

4 立消安全装置の炎検出部に煮こぼれや水などがついていませんか。

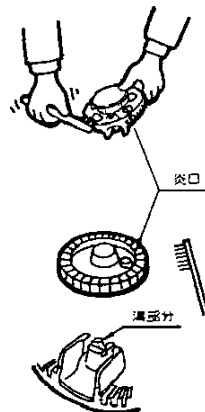
（後から見た図です）

5 グリル水入れ皿に多量の脂やかすがたまっていませんか。

お手入れ

コンロ部の手入れ

1 バーナの炎が不ぞろいになったときは炎口を掃除してください。

● バーナキャップはかたいブラシで、炎口の部分は細いキリなどで掃除してください。特に裏面の溝部分の汚れを取り除いてください。

• バーナキャップの水洗いはできるだけさけてください。水洗いされた場合は、必ず乾いた布で十分水気をとってからセットしてください。

2 排気カバーは水洗いをして水気をとっておいてください。

3 トッププレート、フラットフェーサー、しる受け皿は湿った布でよくふいてください。汚れのとれにくいときは台所用中性洗剤で手入れした後､洗剤を良くふきとってください。

4 ごとくは水洗いをし、水気をとっておいてください。

• バーナキャップ、排気カバーは正しくセットしてください。
• お手入れのときは本体内部や、バーナの中に水などが入らないように注意してください。

グリル部の手入れ

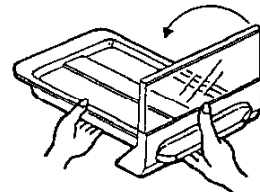
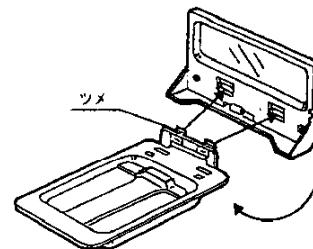
1 グリル水入れ皿､グリル焼網は台所用中性洗剤で手入れした後､水気をとっておいてください。グリル水入れ皿は、グリル扉を取りはずすとお手入れしやすくなります。
（取りはずし、取り付け方は14ページを参照ください。）

2 グリル扉ガラス等に飛散した脂等はふきとってください。おちにくいときは少しあたためてから台所用中性洗剤をしめらしたふきん等でふくと比較的容易におちます。

• ガラスはミガキ砂や金属片、金属タワシなどでこすらないでください。キズをつけ、割れる原因になります。

•••点検・手入れのしかた

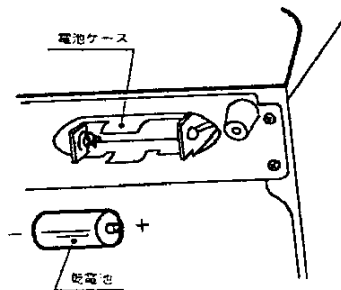
● グリル扉は簡単に取りはずし、取り付けができます。

・取りはずし方
グリル水入れ皿を支え、ガラスの下を指で押えながら、扉を内側にたおすようにするとはずれます。

・取り付け方
グリル水入れ皿のツメ（2ヵ所）を、扉の裏面の穴に差し込み、扉の下部を回転させるようにグリル水入れ皿側に、〝カチッ〟と音がするまで押し込んでください。

3 グリルケースはセルフクリーニング仕上げになっていますので、調理中、飛び散った脂が一箇所にかたまらないように薄く広げて、蒸発や炭化を早める効果があります。(湿度が高い程効果的です。)従ってベトベトした脂よごれが残りにくく、お手入れが簡単になります。

● セルフクリーニングのお手入れ
・通常のご使用後やから焼きのあとは、庫内が冷えてから掃除用ふきんなどでホーロー面をかるくふいてください。
・脂の付着量が多すぎてベトベトした感じになった時は、グリル水入れ皿に水を入れてグリルに点火し、30分～1時間程度から焼きをしてください。もし、この操作を怠りますとセルフクリーニング効果がなくなります。

・普通のホーローにくらべてやわらかいので、硬いものでこすらないようにしてください。
・洗剤やみがき粉などで洗うとホーローが目づまりし、セルフクリーニング効果が低下することがありますので、から焼きやからぶき以外はしないでください。

(電池の取りかえ方)

・点火操作のとき「パチパチ」音の間隔が長くなって点火しにくくなったら、電池が消耗していますので新しいものとお取りかえください。
・電池ケースは機器下部の右前にあります。ケースに表示してある⊕⊖をまちがいないようにセットしてください。
・電池は単二（1.5V）1個使用です。

・電池の寿命は通常の使い方で約1年を目安にしてください。
・ただし付属品の電池は、工場出荷時のもののため、多少早めに取りかえが必要なことがあります。

故障かな？と思ったら

次のことを調べてください

状況		点検事項
コンロ部	点火しない 点火しにくい	①お部屋のガスせんが全開になっていますか。 ②電池が消耗していませんか。 ③バーナのセットが正確にされていますか。 ④バーナ炎口が目づまりしていませんか。
	つまみから手をはなすと消火する	①バーナのセットが正確にされていますか。 ②バーナ炎口が目づまりしていませんか。
	火移りしにくい 黄炎で燃える 炎が安定しない	①バーナのセットが正確にされていますか。 ②バーナ炎口が目づまりしていませんか。 ③風等の影響をうけていませんか。
	異常な音をたてて燃える	①バーナのセットが正確にされていますか。 ②バーナ炎口が目づまりしていませんか。
	使用中に消火した、消火しやすい	①バーナのセットが正確にされていますか。 ②バーナ炎口が目づまりしていませんか。 ③炎検出部に煮こぼれがついていませんか。
グリル部	ガスまたはいやな臭いがする	①バーナのセットが正確にされていますか。 ②バーナ炎口が目づまりしていませんか。
	点火しない 点火しにくい	①お部屋のガスせんが全開になっていますか。 ②電池が消耗していませんか。 ③点火操作が正確ですか。 （点火位置で数秒間保持しましたか。）

次のような現象は故障ではありません

現象	理由と処置
はじめてお使いの時、煙や臭いが出る	部品に付着している油が焼けるためで、グリル水入れ皿に水を入れて換気しながら、約15分から焼きをしてください。
パチパチと全ての点火装置音がする	3ヶ所同時点火方式になっていますので、1ヶ所の点火操作で全ての点火装置が「パチパチ」とスパークします。
点火後や消火後にキシミ音が出る	加熱や冷却される際に、金属が膨張・収縮して起こる音で、故障ではありません。

以上のことをお調べになっても、なお異常のあるときや、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店または最寄りの「東京ガス」にご連絡ください。不完全な処置は事故のもとになります。

長期間使用しない場合

長期間ご使用にならない場合、お部屋のガスせんは確実に閉めてください。なお、お手入れをしておくと次回お使いのとき便利です。お手入れ方法はP.13・14を参照してください。

アフターサービス

サービスを依頼されるときは

①まずP.15の「故障かな？と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの「東京ガス」にご連絡ください。

②アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
- （1）お客様名、住所、電話番号………付近の目印等
- （2）品　名……HR-027PS-HL　機器コード……1714066
  HR-027PS-HR　1712067
- （3）現　象……できるだけ詳しく
- （4）訪問ご希望日

保証について

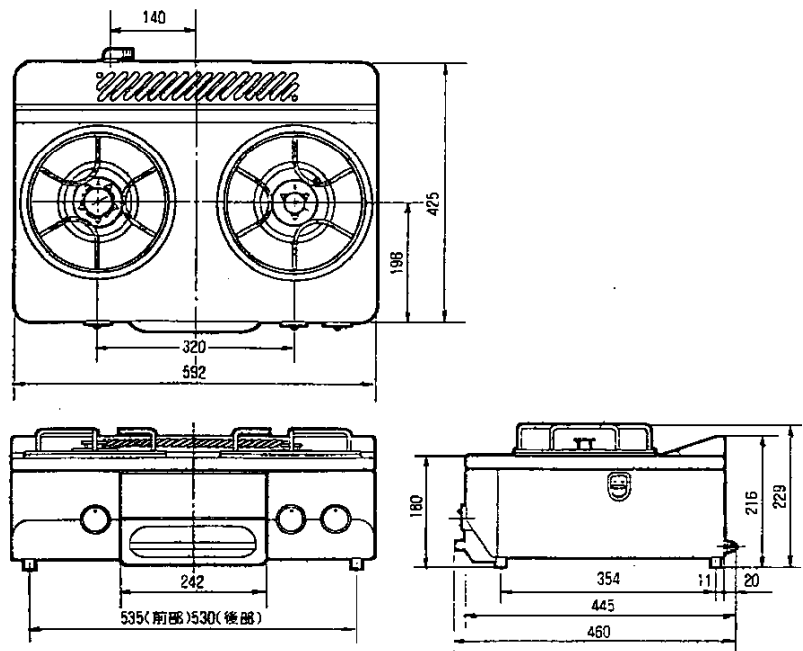
①取扱説明書のP.18が保証書になっています。

②必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

③無料修理期間経過後の故障修理については、故障修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打切後５年間です。なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

仕　様

品　名	HR−027PS−HL HR−027PS−HR　ガステーブル
型式名	LW2104LTG・LW2104RTG
点火方式	連続放電点火
安全装置	立消安全装置
付属品	乾電池（単二1.5V　1コ）・取扱説明書（保証書付）・グリル料理手帳・ゴム管ホルダー
外形寸法	高さ229mm×巾592mm×奥行460mm・（トッププレートの高さ180mm）
重量（本体）	12.0kg（付属品を含む）
ガス接続	9.5mmφ ゴム管

使用ガス 使用ガスグループ		1時間当りのガス消費量			
		個別ガス消費量			全点火時
		チャオバーナ	標準バーナ	グリル	ガス消費量
都市ガス用	13A (kcal/h)	4,000	2,550	2,150	8,500
	12A (kcal/h)	3,800	2,300	2,000	7,900

型式名	LW2104LTG LW2104RTG

保　証　書

品　　　名	HR-027PS-HL HR-027PS-HR ガステーブル

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用として、ご使用になる場合本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

(1) 保証期間は、お買い上げの日から1年間とし機器本体を対象とします。

(2) 万一故障の場合はお買い上げの店、もしくはもよりの東京ガスへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。

(3) サービス員が参上した時に本証書をお示しください。

(4) 保証期間中でありましても次の場合には有料修理といたします。

(イ) 取扱説明書によらないでご使用になり故障した場合

(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷

(ハ) 火災、天災、地変等による故障、その他不可抗力による故障

(ニ) お買い上げの店、あるいは東京ガスに、ご連絡なしに改造された場合の故障

(ホ) 機器に表示してある以外のガスでご使用のため改造された場合。ただし、当社都合の場合はのぞきます。

(ヘ) 本証書を紛失された場合

(5) 無料修理やアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの店または、もよりの東京ガス支社・営業所にお問い合わせください。

お買い上げ日	年　　月　　日

販売店名		扱者印	
住　　所			
電話番号			

保証履行者　東京ガス株式会社　東京都港区海岸1丁目5番20号　電話 03 (433) 2111

保証責任者　株式会社ハーマン　大阪市港区南市岡1丁目1番52号　電話 06 (584) 4000

お客様へ
1. この保証書をお受取りになる時に販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては取扱説明書をご覧ください。
4. この保証書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

	年　月　日	修　理　内　容	サービス員㊞
修理記録			